



資格・免許	取得年月日	資格・免許名	
部活動等			
及び 刑罰・処分歴 及び 性犯罪歴	有無	年月日	刑罰・処分の内容
	有・無		
加点申請	有無	【希望者のみ】※実施要項P3参照 加点申請の要件①～③のうち当てはまる要件の番号を記入すること。 (要件⑩において資格を2つ有する者は、⑩を2つ記入)	要件番号
	有・無		
成績開示	有無	【成績開示の希望】	
	有・無	成績開示は、希望者に対して、第1次試験の合否通知において、「第1次試験の得点」及び「第1次選考の総合判定ランク」(A～Dの4段階で示したものを)を開示します。 第2次試験の合否通知において、「第2次試験(小論文、個人面接)の段階評価」及び「第2次選考の総合判定ランク」(A～Cの3段階で示したものを)を開示します。	
志望の動機			
自己紹介			

本書類に記入した事項は事実に相違なく、虚偽の記入があった場合には、合格が取り消され得ること及び令和9年度長崎県立学校職員採用候補者名簿から削除され得ることについて了承します。  
また、私は、地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に該当していません。

令和 年 月 日

氏名

## 【記入上の注意】

- ※ 志願区分の欄については、希望する職種・教科等を○で囲むこと。なお、工業については、機械・電気・建築・工業化学・任意(いずれでもよい場合)・なしのいずれかを第1希望から第2希望までに記入すること。
  - 例1) 第1希望( 建築 ) 第2希望( 工業化学 )
  - 例2) 第1希望( 任意 ) 第2希望( )
  - 例3) 第1希望( 機械 ) 第2希望( なし )
- ※ 志願区分の受験種別の欄については、令和8年度採用試験の第2次試験結果通知において令和9年度採用選考試験の第1次試験の全てを免除することが記載されており、免除申請をする者は「1次免除対象」を、それ以外の者は「一般」を○で囲むこと。
- ※ 職歴の欄には、最終学校卒業等の月の翌月から、空白期間がないように記入すること。なお、在宅期間については、勤務先の欄に「在家庭」と記入すること。ただし、欄が足りない場合は、直近のもの7つを古い方から順番に記入すること。
- ※ 刑罰・処分歴及び性犯罪歴の欄には、罰金以上の刑に処せられたこと又は懲戒処分若しくは分限処分(休職等)を受けたことの有無について、「有・無」のどちらかを○で囲み、「有」の場合は、判決確定年月日等又は処分年月日とその内容(例:児童に対するわいせつ行為)を記入すること。
- ※ ※学校教育法第9条第1号にいう「拘禁刑以上の刑に処せられた者」には、以下の①、②の期間にある者も含まれるため、記入に当たって留意すること。
  - ①拘禁刑以上の刑に付された執行猶予の期間
  - ②拘禁刑以上の刑の執行を終わり又はその執行の免除を得たときから、罰金以上の刑に処せられることなく10年を経過するまでの間の期間
- ※ 虚偽の記入があった場合には、合格が取り消されること及び令和9年度長崎県立学校職員採用候補者名簿から削除されることがある。
- ※ 提出は1枚目と2枚目を両面印刷で提出すること。3枚目(このページ)は提出しなくてよい。